

ウィンドウズXP SP2だけじゃダメ!?

インターネットからPCを守る 最新セキュリティ対策

インターネットにはウイルスを筆頭として、さまざまな危険が潜んでいる。マイクロソフトはこの9月2日に、ウィンドウズXPにセキュリティ強化機能を搭載した修正プログラム、サービスパック2 (SP2) の提供を開始した。SP2はセキュリティ対策の機能が見直され、より安全になっているものの、その機能をよく見てみると、SP2だけでは守りきれない「危険」がまだまだ多い。インターネットにはどのような危険があるかをよく理解し、セキュリティ対策ツールを併用して防御するのが安全への近道だ。

ウイルスに不正アクセス、インターネットに潜む危険は急増中

インターネット利用者の半数が ウイルス被害を経験している

インターネット白書2004によると、インターネットで何らかの迷惑行為を受けた人は、パーソナルコンピュータ(PC)利用者個人を対象に実施したウェブアンケートの結果で、全体(回答者8014人)の6割にも上る。迷惑行為の大半はコンピュータウイルスで(下図参照)感染に気づかないものも含めれば、相当数の被害が出ているはずだ。

近年のウイルスは、メールやファイルを開いたときに感染するものだけでなく、インターネットに常時接続している環境で、インターネットから不正な攻撃を仕掛けられて直接感染するものも多い。つまり、インターネットに接続するだけで感染する可能性がある。そこでウイルス対策ソフトはもちろん、外部からの攻撃を守るファイアーウォール機能も入れておかなければならない。

増えつつある被害 個人情報の漏洩に注意しよう

ウイルスの次に注意したいのが、サービスを利用するためのIDやパスワード、クレジットカード番号などの個人情報の漏洩だ。盗まれた情報によっては、詐欺行為などの犯罪に巻き込まれ、金銭の被害を受けることにもつながる。事実、警視庁に届けられたインターネットによる犯罪の被害届の件数は、年々増え続けている。

インターネット白書2004によると、個人情報の漏洩被害を経験している人は回答者の4分の1だが、「わからない」と答えている人が3分の1もいる。この結果は、「もしかしたら自分の個人情報が漏洩しているのではないか」という不安の表れだろう。

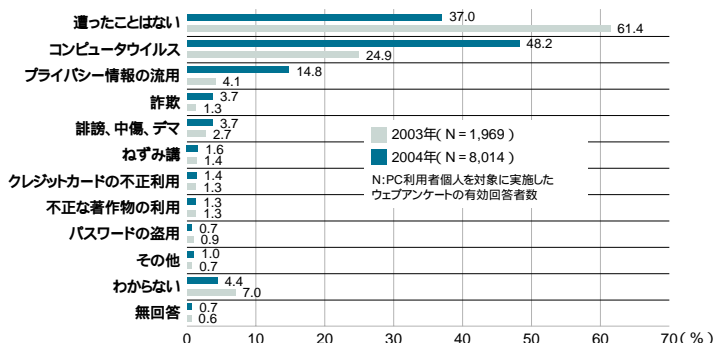
個人情報の漏洩は、「知らないうちに自ら提供してしまう」という利用者の行動によって起きてしまうことも多い。その対策として、

「インターネットの情報を信じず、個人情報を極力入力しないようにすべき」なのだが、この実現はそう簡単ではない。そこで導入を検討したいのが、怪しげなサイトやメールに遭遇しないようにする仕組みだ。

たとえば子供がいる家庭であれば、不適切なサイトへの訪問をブロックすることで、判断力に乏しい子供が怪しげなサイトを訪れて犯罪行為に巻き込まれてしまうことを未然に防げる。また迷惑メールには、詐欺情報だけでなく、怪しげなサイトへのリンクや個人情報を入力するフォームが付いていることも多い。そこで迷惑メールを除外する対策をすれば、誤って個人情報を入力してしまう機会は減る。

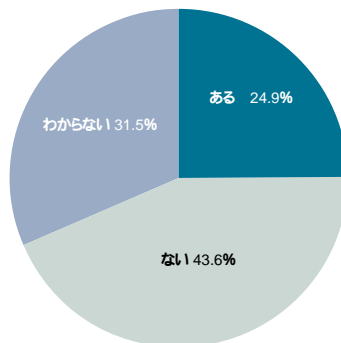
このように、現在のセキュリティ事情を考えると、攻撃を守るだけでは不十分で、危険を伴うサイトに誘導されないようにすることも重要だ。

【迷惑行為の被害経験】



インターネット白書2004による迷惑行為の被害経験。軽微なものも含めれば、6割以上の人は、何らかの迷惑行為を受けており、約半数はウイルス被害を受けている。

【個人情報の漏洩の被害経験】



明確に「ある」と答えた人が4分の1もいる。それ以上に「わからない」と答えている人が3分の1近くに上り、個人情報の漏洩に関心があることがうかがえる。

Source: インターネット白書2004 ©Access media/impress,2004

ウィンドウズXP SP2に不足しているセキュリティ対策はここ！

インターネットからの攻撃に強くなったウィンドウズXP SP2

セキュリティ対策の基本は、OSやアプリケーションが異常なデータを受け取ったときに侵入を許してしまう「セキュリティホール」と呼ばれる不具合を正しておくことだ。セキュリティホールを残したままPCを使い続けると、そこを攻撃されてウイルスが感染する原因となってしまう。

そこでウィンドウズXPは、定期的にOSの最新情報を取得し、必要な修正プログラムを自動的にインストールする仕組み「Windows Update」を採用している。

さらに、インターネットを経由した外部の攻撃から自分のPCを守るためにはファイアウォール機能は不可欠だ。

マイクロソフトのウェブサイトなどで無償で配布されているウィンドウズXPサービスパック2（以下SP2）は、アプリケーションが勝手に通信を始めると、通信を開始してよいかを尋ねるメッセージを表示する。このため、気

づかぬうちにPCでアプリケーションがこっそりと活動して情報がインターネットに漏れてしまうという危険性が減った。

SP2だけではウイルスや個人情報の漏洩から身を守れない

セキュリティ対策では、ウイルス対策と個人情報漏洩の防止の仕組みも欠かせない。

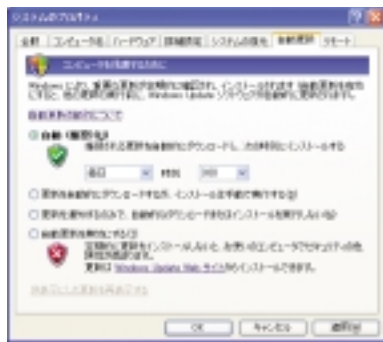
SP2は、インターネットエクスプローラが、ウイルスの感染源となりうるプログラムを実行する前やポップアップウィンドウを表示する前に、利用者にそれらを実行してよいかを尋ねるメッセージを表示するようになった。

またアウトLOOKエクスプレスは、プログラムが添付されたメールを受信すると、プログラムを自動的に隠すほか、ワープロや表計算のファイルなどが添付されているときでも、開こうとすると、本当に開いてよいかを尋ねるメッセージを表示する

ようになった。さらに個人情報の漏洩防止機能として、HTMLメール内の画像を表示しないようにする機能も付いている（下図参照）。

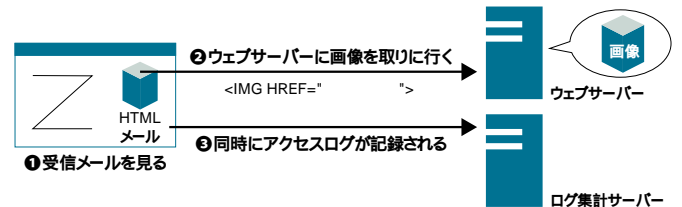
しかしこれらのSP2の機能は、警告メッセージを表示するだけにすぎない。データの中身を見て判断するわけではないので、警告は不確実だ。警告が表示されたときにどのように処理するかは、ユーザーの判断に委ねられる。無視して開いてしまえば、ウイルスに感染したり個人情報の漏洩につながったりする。これでは、セキュリティ対策は十分とは言えず、市販のセキュリティ対策ツールが別途必要だ。

セキュリティ対策ツールには、迷惑メールを除外するスパム対策機能など、安全性を高めるだけでなく、PCやメール、インターネットをより便利に使える機能も備わっている。以下に、インターネットの利用に必要なセキュリティ対策と、SP2がサポートする範囲を明示したので参考にしてほしい。



Windows Updateは自動的に最新の修正プログラムをダウンロードし、再起動時や時間指定で自動的にインストールする。

【個人情報漏洩につながる!? HTMLメール内の画像】



HTMLメールには画像を表示するためのリンクが張られていることが多い。このため、HTMLメールを開くとインターネットを経由して画像を蓄積しているウェブサーバーにアクセスするとともに、メールを見たPCのIPアドレスなどの情報がアクセスログとして記録される。「実際に使われている有効なメールアドレス」といったことや「メールを見たかどうか」がわかる仕組みだ。

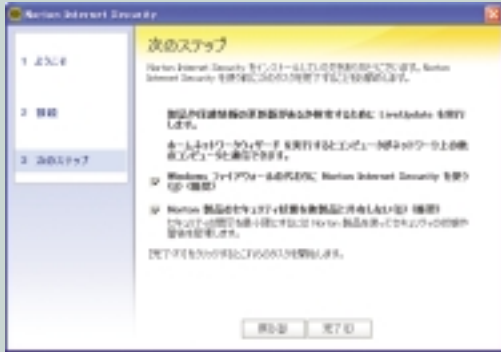
【インターネットに必要なセキュリティ対策機能とウィンドウズXP SP2がサポートする範囲】

その他の機能	ウィンドウズXP SP2がサポートする範囲		ファイアウォール	
事前登録サイト以外へのアクセスの抑制（ウェブフィルタリング）	最新のセキュリティ対策済みプログラムに更新	送受信先によるファイアウォール	通信内容によるファイアウォール	ネットワークごとのファイアウォール設定の切り替え
	ポップアップウィンドウの抑制	送受信するアプリケーションによるファイアウォール	侵入検知	ファイアウォール機能の柔軟なカスタマイズ
ユーザーの行動嗜好調査の流出防止	広告サーバーへの個人情報の流出防止	ActiveXやスクリプトの実行警告	ファイル監視によるウイルス除去	迷惑メールの振り分け
事前設定した個人情報に合致するデータの流出防止		添付ファイルの実行や閲覧時の警告	送受信するデータを監視したウイルス除去	フィッシング詐欺や差出人偽装メールの自動判定
個人情報の漏洩防止		ウイルス対策		迷惑メール対策

セキュリティ対策ツールの併用がおすすめ！

セキュリティ対策の専門ツールは、ウィンドウズXP SP2よりずっと高性能で使いやすい。そこで、ノートン・インターネットセキュリティ 2005(以下NIS2005)を例に、SP2とNIS2005の機能がどのように違うのかを見ていこう。

対 決 そ の 1 ファ イ ア - ウ ォ - ル 機 能



NIS2005は、SP2のファイアウォールと差し替えて利用できる。SP2と機能が重複してしまって誤動作する恐れはない。

SP2は、「どのアプリケーションがどこと通信するか」を判断して、通信をブロックするだけだ。それに対してNIS2005には、「侵入検知機能」があり、インターネットからの攻撃データを自動的に防いでくれる。またNIS2005では、複数のファイアウォール設定を保存しておいて、それを切り替えて利用できるので、モバイル環境などネットワークごとにセキュリティ設定を切り替えたい場合にも便利だ。



SP2はアプリケーションが通信を開始しようとしたときに警告を表示する。



NIS2005もアプリケーションが通信を開始しようとしたときに警告を表示する。侵入検知機能により、インターネットから攻撃を受けたときにも警告を表示し、自動的にブロックする。

結果

ウィンドウズXP SP2(アプリケーションの種類と通信先でブロック)

NIS2005(攻撃を検知して自動でブロック)

対 決 そ の 2 ウ イ ル ス 対 策

SP2には、ウイルス対策機能がないので、別にウイルス対策ソフトをインストールしておく必要がある。

NIS2005は常にウイルスを監視している。ファイルを開くときやメールの送受信時にウイルスを発見すると警告を表示し、自動的に除去する。複雑な設定や操作は不要。手を煩わせることなく簡単にウイルス対策ができる。



NIS2005をインストールすると、SP2はNIS2005をウイルス対策ソフトとして認識する。

結果

ウィンドウズXP SP2(ウイルス対策機能なし) ×

NIS2005(ウイルス対策はお手のもの)

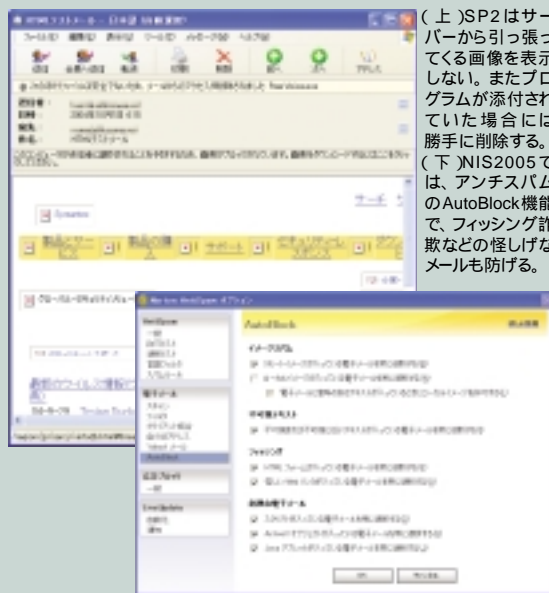
NIS2005はデータを監視し、ウイルスを見つけると自動的に除去してくれる。



対決その3 メール画像や添付ファイルをブロック

SP2は、添付されているファイルの種類(拡張子)だけで判断し、メールにプログラムが添付されていると、それがたとえ安全なものであっても除去してしまう。このため、知人や取引先から届いた必要なファイルが失われてしまう可能性もある。また、個人情報追跡されることを防ぐため、サーバーにアクセスして画像をダウンロードするHTMLメール(115ページ右図参照)では一切画像を表示しない。

一方NIS2005は、添付ファイルやメールの内容をチェックし、ウイルスチェックやスパム対策機能によって危険なものだけを除去する。個人情報の入力を促すフィッシング詐欺のメールもチェックの対象になる。



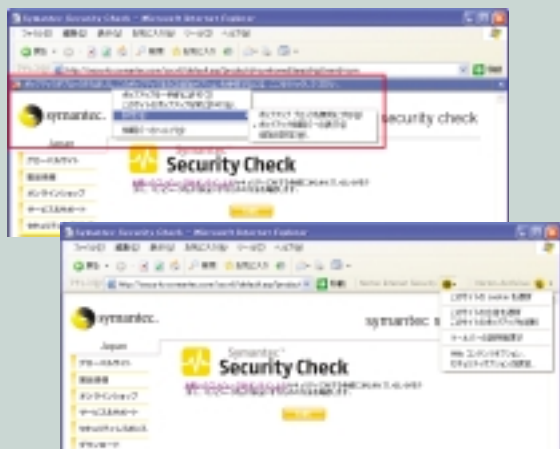
(上)SP2はサーバーから引っ張ってくる画像を表示しない。またプログラムが添付されていた場合には勝手に削除する。
(下)NIS2005では、アンチスパムのAutoBlock機能で、フィッシング詐欺などの怪しいメールも防げる。

結果

ウィンドウズXP SP2(安全な添付ファイルも排除する可能性あり)

NIS2005(内容を判断して危険なものだけを自動で除去)

対決その4 スクリプトやポップアップの防止



(上)SP2は中身が安全であっても一時的にブロックする。(下)NIS2005は無害なものはそのまま表示される。必要があればツールバーから一時的に設定を変更できる。

SP2は、スクリプトやポップアップが含まれるとき、たとえそれが安全でも一時的にブロックし、ツールバーの表示をクリックしないかぎり実行しない。したがって、SP2では安全なものを見るときでもツールバーの表示を確認していちいち操作しなければならない。そればかりかツールバーの表示をクリックすれば何でも実行できてしまうのでとても危険だ。

NIS2005でも広告フィルター(広告ブロック機能)の設定ですべて自動で除去されるが、たとえこの機能をオフにしていたとしても、ウイルスや不正なスクリプトなど本当に危険なものは自動的に除去してくれる。

結果

ウィンドウズXP SP2(とりあえずブロックしてユーザーの判断を仰ぐ)

NIS2005(内容により判断して危険なものは自動で除去)

対決その5 常に最新のセキュリティーを保つ

結果

ウィンドウズXP SP2(Windows Update)

NIS2005(LiveUpdateと警告機能で危険から防御)

SP2はWindows Updateで最新のセキュリティー情報に更新する。NIS2005にも最新の攻撃から守るための更新ファイルを自動的にインストールする自動Live Update機能が備わっている。さらにNIS2005は、緊急性が高いセキュリティー情報を常に確認し、警告してくれる「アウトブレイク警告」機能を搭載。突如発生したウイルスでもすぐに対応できるのが特徴だ。

PCを守るにはノートン・インターネットセキュリティ 2005 が最適!

皮肉なことに、インターネットを積極的に利用するようになればなるほど、脅威に遭遇する確率も高くなる。しかもやっかいなのは、複数の技術や侵入経路を組み合わせた複合的な脅威が出現し、もはや単一のツールでは防御が不可能になってきたことだ。複合的な脅威からPCを守るには、ユーザーも複数のツールを使って多角的に対応するしかない。「ノートン・アンチウイルス」「ノートン・パーソナルファイアウォール」「ノートン・アンチスパム」を統合したノートン・インターネットセキュリティ 2005は、こうした用途にピッタリなセキュリティソフトだ。



1

新機能 長期休暇明けには脅威注意報をまずチェック!

「アウトブレイク警告機能」で重大な危険を察知する

PCの電源が入っていてウィンドウズが起動している状態であれば、自動LiveUpdateがウイルス定義を自動的に更新してくれる。通常はこれで安全が確保されるが、旅行や出張で長期間PCを使わないときは自動LiveUpdateも作動しない。こうした場合に有効なのが、新しく加わったアウトブレイク警告機能だ。

シマンテックでは、ウイルスの危険度を1～5の5段階で評価している。アウトブレイク警告機能は、危険度が3以上のウイルスが発生したとき、即座に危険度や自分のPCが保護されているかどうかを警告表示してくれる。今まで気になっていた休み明けや出張帰も、これで安心してPCの電源を入れられる。

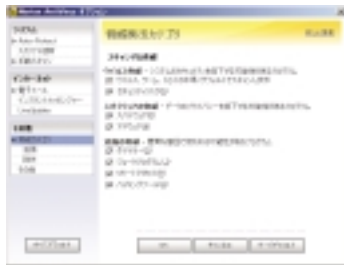


警告内容は、インターネットセキュリティ・メイン画面の「アウトブレイク警告」をクリックすると表示されるアウトブレイク警告画面でも確認できる。

2

強化 フリーウェアダウンロードやウェブサイト閲覧の不安を解消!

「スパイウェア検出」機能で不快なプログラムを排除する



アンチウイルスのスキャン対象は、オプションの「その他」脅威カテゴリで設定。すべての項目にチェックを付ければ、スパイウェアもスキャンの対象となる。

システムの動作を密かに監視して個人情報勝手に外部に送信するスパイウェアが近ごろ増加している。そのほか、アドウェアやダイヤラー、ハッキングツールなど、インターネットにはユーザーにとって不快なプログラムが数多く存在し、フリーウェアや電子メール、インスタントメッセージ、ウェブサイトへのアクセスなどを通じてPCに忍び込む。

これらのプログラムは、個人情報を勝手に盗み出すだけでなく、PCの処理速度の低下やエラー、システムダウンの原因になることも少なくない。アンチウイルスはこうした脅威を検出し、見つけ出すと警告してくれる。

3

新機能 銀行や大企業の「偽装」お知らせメールに要注意

個人情報を収集するための「フィッシング詐欺メール」を遮断する

実在する銀行や著名なショッピングサイトからの問い合わせに見せかけたメールを送り付け、そのメールに記述されたURLから偽装したウェブサイトへ誘い込んでクレジットカード番号やパスワードなどの個人情報を盗み出す。これをフィッシング詐欺という。アメリカではこうした手口の詐欺が横行し、過去1年間の被害総額は5億ドルにも上るといふ。日本でまだそれほど多くのフィッシング詐欺メールは見られないものの、今後の被害増加が心配されている。

ノートン・アンチスパム 2005は、フィッシング詐欺メールにいち早く対応。HTMLフォームや怪しいウェブリンクが入っているメールを自動で遮断する。

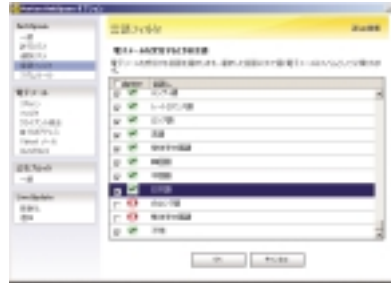


AntiSpam オプション設定のAutoBlock画面にある「フィッシング」の2項目でフィッシング詐欺メールを遮断。初期設定でもチェックが入っている。

4 新機能 届くはずのない言語で書かれたメールをシャットアウト
「言語フィルター & スпамフィルター」で不要なメールは受信しない

ノートン・アンチスパム 2005は、スパムメールのフィルター機能を大幅に強化。その1つが言語フィルターで、未選択の言語で書かれたメールをすべてスパムフォルダーに振り分ける。

多くのスパム対策ソフトウェアは、許可リストと遮断リストを設けて、遮断リストに登録されたメールアドレスから届くメールは遮断する。アンチスパム 2005ではこの機能が強化され、許可リストに入っていない送信元のメールを遮断するように設定できる。さらに、登録されたメールアドレスがスパマーに偽装アドレスとして使われた場合、スパムとして識別する機能も加わった。



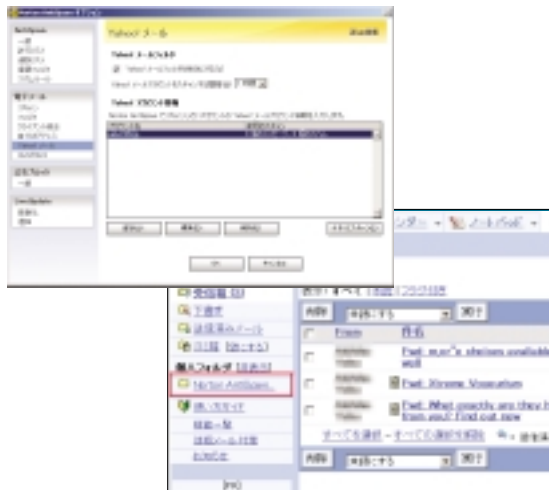
AntiSpamオプション画面左の「言語フィルタ」をクリックすると言語が一覧で表示される。ここでチェックを外すと、その外した言語で書かれたメールはスパムとして扱われる。

5 新機能 手つかずだったウェブメールのスパム対策もこれで万全
フリーの「Yahoo! メール対応」で使い勝手が向上する

フリーメールのメリットの1つは、ブラウザでメールの送受信ができることだ。ところが困ったことに、フリーメールはスパムメールが多いにもかかわらず、スパムを防止する手立てがない。

そこで、ノートン・アンチスパム 2005は人気の高いYahoo! メール

に対応した。Yahoo!メールのアカウントをAntiSpamオプションに登録しておけば、指定した間隔でメールボックスをスキャンする。スパムが見つかったら、Yahoo!メールの「Norton AntiSpam」フォルダーに自動的に振り分けてくれる。



(上)AntiSpamオプションでYahoo!メールのID(アカウント)とパスワードを登録すれば、「Yahoo!メール」画面にアカウントが表示される。指定した間隔のほか、ここで直接スパムチェックもできる。(下)アカウント登録後、Yahoo!メールにアクセスすると、「Norton AntiSpam」フォルダーが作成されているのがわかる。スパムと判断されたメールはこのフォルダーに入れられる。

【ノートン・インターネットセキュリティ 2004 vs 2005機能比較】

機能	インターネットセキュリティ 2004	インターネットセキュリティ 2005
ウイルス対策機能		
アウトブレイク警告機能	×	
自動修復機能		
定義ファイル更新後のクイックスキャン	×	
プリインストールスキャン		
一時的な機能の無効化		
自動LiveUpdate		
スパイウェア検出・削除		
ワーム遮断・スクリプト遮断機能		
ファイアウォール機能		
個人情報送信を許可したサイトを自動的に例外(信頼)リストに追加	×	
一時的な機能の無効化		
リファラ のブロック		
アクセスを許可 / 遮断するコンピュータの識別		
ネットワーク検出機能		
迷惑メール対策機能		
フィッシングメール検出	×	
Yahoo!メールのサポート	×	
メールソフトのアドレス帳同期機能 1	×	
言語フィルター	×	
許可リストに存在しないメールアドレス(送信元不明メールアドレス)からのメールを遮断	×	
不適切コンテンツ検出	×	
スパムメールの自動フィルター		
学習機能		
その他		
保護者機能		

1 マイクロソフトアウトルック、アウトルックエクスプレス、Eudoraの3ソフトに対応
2 は機能があるものの新バージョン2005で強化されている

新バージョン2005は、スパムやスパイウェアなど「広義の脅威」への対策が強化されている。

アップグレード & 特別優待パッケージが断然お得!
ノートン・インターネットセキュリティの以前のバージョンを持っているユーザーなら、アップグレード価格で最新版の2005を購入できる。また、プリインストール版やバンドル版を含め、シマンテック製品の登録ユーザーや他社のウイルス対策ソフトからの乗り換えユーザー、およびプロバイダーのメールチェックサービス利用者向けに特別優待パッケージも用意されている。どちらも通常版よりかなりお買い得だ。

ノートン 2005 シリーズ製品ラインナップ一挙紹介

シマンテックが9月に発表した個人向けの新製品は、全部で8種類。これだけ種類があると、自分のPCにどのソフトウェアが必要で、どれを選べばいいのか混乱しそうだ。だが、実際はその反対で、それぞれの環境に合わせて必要な機能を柔軟に選択できる製品構成になっているのだ。今回発表された製品の用途は大きく2つに分類できる。1つがセキュリティ対策で、もう1つがPCトラブル解決とデータ保護だ。さらに単体の製品と複数の製品を統合したスイート製品の2つのタイプの製品が用意されている。それがわかれば、もう選択に迷うことはない。

インターネット活用の基本は 万全のセキュリティ対策

インターネットの便利さを十分に享受しようと思ったら、ウイルスやスパムメール、スパイウェア、不正侵入などインターネットに潜むあらゆる脅威からPCを守る対策は欠かせない。セキュリティ対策は、いまやPCユーザーの義務だと言える。

セキュリティ対策に万全を求めるなら、ウイルス対策とスパム対策、ファイアウォール機能をワンパッケージにまとめた「ノートン・インターネットセキュリティ 2005」がおすすすめだ。すでにウイルス対策ソフトを持っている場合には「ノートン・パーソナルファイアウォール」を、パーソナルファイアウォールを持っていれば「アンチウイルス」をといった単

体製品の選択肢も考えられる。

幼い子どもがいる家庭では、不適切なサイトへのアクセスを遮断する保護者機能(ウェブフィルタリング機能)も必要だ。今回発表された新製品の中でこの機能を備えているのはノートン・インターネットセキュリティ 2005だけだから、子どもがいる家庭にはこの製品が最適だろう。

【 ノートン2005シリーズ製品ラインナップ 】

1 2ユーザーライセンスにファイル復元 / 抹消機能を含めた「ノートン・アンチウイルス 2005 ホームプロテクションパック」もある
2 12月以降発売予定

	製品名	特徴	ウイルス対策	インターネット ワーム防止	ファイア ウォール	侵入防止	プライバシー 保護
	ノートン・インターネット セキュリティ 2005	ノートン・アンチウイルス、ノートン・パーソナルファイアウォールとノートン・アンチスパムを1つにまとめた個人向け統合セキュリティ対策ソフトウェア					
	ノートン・アンチウイルス 2005 1	複合型のワームからユーザーを守る「インターネットワーム防止機能」が新たに加わったウイルス対策ソフトウェアの決定版			-	-	-
	ノートン・パーソナル ファイアウォール 2005	接続中のPCを外から見えないようにすることで不正侵入を防ぐほか、個人情報が勝手に送信されることを防いでプライバシーを保護。さらに侵入防止機能により、疑わしい通信を遮断する	-				
	ノートン・アンチスパム 2005 2	迷惑メールを自動的に識別・遮断。新バージョンにはフィッシング詐欺メールの遮断機能や、特定の言語で書かれたメールを遮断する言語フィルタ機能加わった。さらに、Yahoo!メールにも対応	-	-	-	-	-
	ノートン・システムワークス 2005	ノートン・アンチウイルス、PCのトラブル解決と最適化を行うノートン・ユーティリティーズ、トラブルからの復旧を行うノートン・ゴーストなどを1つにまとめた統合ソフトウェア			-	-	-
	ノートン・システムワークス プレミア 2005 2	ノートン・システムワークス 2005に、バックアップやシステム復旧を行うノートン・ゴーストを加えたソフトウェア。ノートン・ゴーストを使えば、ウィンドウズを再起動せずにバックアップが可能			-	-	-
	ノートン・ゴースト 4.0 2	深刻なトラブルに見舞われた際に、システムを直前の状態に戻すことができる。新バージョン4.0には、アプリケーションなどを試しインストールできる「SafeTryモード」が加わった	-	-	-	-	-
	ノートン・ゴースト 9.0	ハードディスクのバックアップ / 復元ソフトウェア。新バージョン9.0には、ウィンドウズ使用中にバックアップできるホットイメージング機能や増分バックアップ機能、スケジュール機能が加わった	-	-	-	-	-

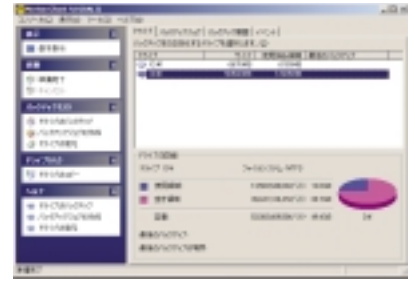
複数のPCを所持するなら
マルチライセンスパッケージを選択

いまや複数のPCをLANで接続している家庭も珍しくない。こうした家庭やオフィスでは、台数分のライセンスの購入が必要だ。シマンテックのセキュリティ対策製品には、どれも複数ライセンス付きパッケージが用意されていて、1ユーザー用の標準パッケージを台数分購入するより割安の価格が設定されている。

新製品の中で忘れてはならないのが、PCトラブル解決とデータ保護をしてくれる「ノートン・システムワークス 2005」だ。このソフトウェアは、トラブルが起きたPCのシステムを正常な状態に復旧する「ノートン・ゴースト 4.0」も付属している。さらに、アンチウイルスも含まれているから、この1本でウイルス

対策も整えられる。

手間をかけずにデータを確実にバックアップしようと思ったら、システムワークスと、バックアップツールのノートン・ゴースト 9.0を1つにまとめた「ノートン・システムワークス プレミア 2005」を購入候補にするといい。なお、ゴーストとゴーストは、それぞれ単体製品でも販売される。



単体でも販売されるノートン・ゴースト 9.0。起動すると、現在のハードディスクの状態が表示される。



ノートン・システムワークス 2005にノートン・ゴースト 9.0を加えたノートン・システムワークス プレミア 2005。起動するとシステムの状態が表示される。

3 プリインストール版やバンドル版を含め、シマンテック製品の登録ユーザーや他社のウイルス対策ソフトからの乗り換えユーザー、およびプロバイダーのメールチェックサービス利用者が対象

広告ブロック	迷惑メール対策	保護者機能	PCのトラブル解決	不要なプログラム/ファイル削除	システム復元	バックアップ	価格(税込)	
							標準パッケージ マルチユーザーパッケージ	特別優待パッケージ 3
-	-	-	-	-	-	-	10,290円 14,490円(2ユーザー)	8,190円
-	-	-	-	-	-	-	7,140円 11,340円(2ユーザー) 1 27,930円(5ユーザー) 53,550円(10ユーザー)	-
-	-	-	-	-	-	-	7,140円 27,930円(5ユーザー) 53,550円(10ユーザー)	-
-	-	-	-	-	-	-	6,090円 23,835円(5ユーザー) 45,675円(10ユーザー)	-
-	-	-	-	-	-	-	14,490円	10,290円
-	-	-	-	-	-	-	18,690円 72,975円(5ユーザー) 140,175円(10ユーザー)	-
-	-	-	-	-	-	-	10,290円	8,190円
-	-	-	-	-	-	-	10,290円	-



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp